

H26. 12. 25  
第三期協議会第9回  
資料を基に作成

新武蔵野クリーンセンター(仮称)外構計画ゾーニング案

既存樹木を活かしながら武蔵野の雑木林をイメージした植栽を行う。人は立ち入ることができない。

【既存】ケヤキ、シラカシ

【新植】中木: ヤマボウシ、クヌギ、コナラ、エゴノキなど  
低木: アオキ、ヤマツツジ、ガマズミなど

芝生広場

エコセンター(仮称)とエコプラザ(仮称)をつなぐコミュニティ広場。

どんぐり広場

自由に散歩できる雑木林のゾーンには、実がなる木を植え、どんぐり拾いを楽しめるような空間に。通路の北側は緑の豊かさの指標ともされているこげらの営巣を目指した空間づくりを行い、野鳥を誘致するとともに、「レインガーデン」による水辺空間、虫のすみか「インセクトホテル」とあわせて、生物の観察ができるゾーンとする。

【新植】中木: クヌギ、コナラ、カシ、シイ、クリなど

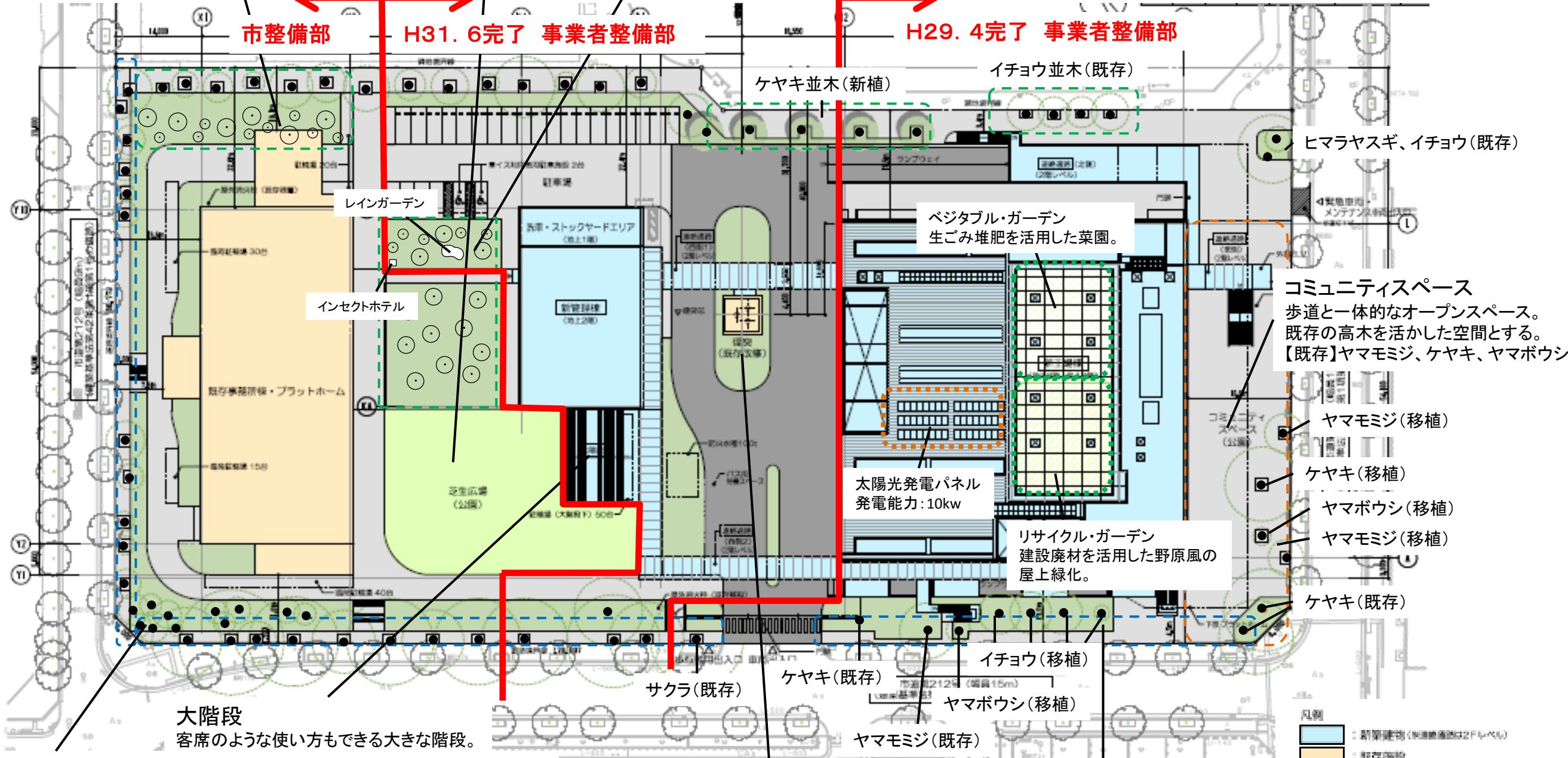
低木: クチナシなど

地被: カタクリ、チゴユリ、ムラサキ、水生植物など

市整備部

H31. 6完了 事業者整備部

H29. 4完了 事業者整備部



歩道状空地

敷地の外周は、既存の中高木を活かしながら、歩行者空間を拡充する。また、エコプラザや芝生広場への視線を遮らないようにし、開放的にする。

壁面緑化とシンボルツリーで煙突の足元を演出。

【新植】中木: カツラなど

地被: タマリユウなど

【新植】

低木: ヒラギナンテン、コムラサキ、シマカンズゲ、ヒュウガミズキ